

2006年4月開校へ 同志社小学校の起工式

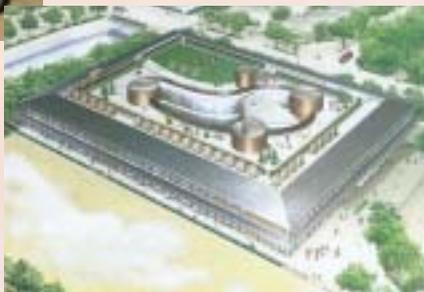


起工式で挨拶をする八田大学長。左は野本理事長、右に大谷総長、鈴木直人大学文学部教授(小学校長予定者)。

1月31日、建設地の岩倉校地北グラウンドで、大学附属小学校の起工式が大谷實総長、野本真也理事長、八田英二大学長をはじめ教職員、工事関係者が出席して行われた。校舎の完成は今年12月の予定。地上2階の鉄骨・鉄筋コンクリート造りで、設計は株式会社高松伸建築事務所、設計監修は学校建築の第一人者である長澤悟東洋大学教授。



▲ 鍬入れを行う右から大谷総長、野本理事長、八田大学長。左手前は設計担当の高松伸京都大学教授。



児童の創造性や自主性を育む▶
豊かな空間に満ちた校舎完成予定図。

Neesima Room 第26回企画展

徳富蘇峰と熊本バンド

同志社創立の半年後（1876年）熊本洋学校が閉鎖されたが、同校で基督教に共鳴した生徒たちが大挙して同志社に入学してきた。世に言う「熊本バンド」である。俊才揃いの彼らは卒業後、牧師、教育者、外交官、同志社総長などとして目覚しい活躍を見せた。今回、ジャーナリストとして名を馳せた徳富蘇峰を中心に、2004年10月1日～2005年2月28日まで関連資料が展示され、熱心に見入る来場者が多かった。



Neesima Roomメイン会場での展示風景



徳富蘇峰ならびに秘書の並木仙太郎宛て名士書簡等を貼り合わせた「貼り交ぜ屏風」（蘇仙庵文庫）。内藤湖南、坪内逍遙、吉屋信子、斉藤茂吉などの名前がある。

2004年10月21日、ハリス理化学館1階会議室で開催された公開講演会「熊本バンド、そして徳富蘇峰」講師は伊藤彌彦同志社社史資料センター所長・法学部教授



各校の行事・教育活動から Photo Skech

4高等学校の 学部長講座

1・2年生を対象に2004年度から開始された。高大連携講座の一環で、生徒たちの進学に対する意欲や知的好奇心を促す内容になっている。写真は、黒木保博大学文学部長による講座の一コマ。
(本文66頁参照)



香里高等学校

9月25日に行われた文化祭で、展示大賞に選ばれた2年H組の「つまようじアート」。全体のテーマでもある「クラス全員が一致団結し、1つの作品を完成させる達成感と感動の共有」を実現した。

幼稚園

毎年7月に行われる年長組「お泊り保育」での鴨川への園外保育。元気いっぱい“亀石”を渡る園児たち。



地の塩 世の光

インタビューの2人

若者の悩みや活動を応援する女子大学提供の「HO' VID PARK」（毎週日曜22:00～23:00、Kiss-FM KOBE）などでDJを務める森 夏子さんと、大分県日田市で1899（明治32）年創業の味噌・醤油製造業「まるはら」4代目の原（次郎左衛門）正幸氏の登場です。（本文4頁～9頁）

森 夏子氏

1994年女子大学学芸学部
英文学科卒業。
Kiss-FM KOBE、FM α
ステーションのディス
クジョッキー。女子大
学ラクロス部監督。



「人々をつなぐのは“心”。そこにいたから出会えた人を大切にしたい」

原 正幸氏

1970年大学商学部卒業。
合名会社「まるはら」
（原次郎左衛門味噌醤油
蔵）代表。



「観光にしても、仕事にしても、財産は磨かないと光りません」